

前原市篠原の糸島高校（春田徳洋校長）に十五日、米国カリフォルニア州のマリエタ・バレー高校の生徒三人と引率の教師ら計五人が訪れた。両高の生徒は五年前から互いにホームステイをするなど交流を重ねて

前原・糸島高

いる。来日した五人は、糸島高の教師や生徒の家庭が受け入れた。

同日朝、星条旗を掲げた糸島高で、全校生徒が歓迎集会を開いて出迎えた。生徒会長の小川浩司君（二七）は「よき国際理解が、二十一世紀の平和な世界

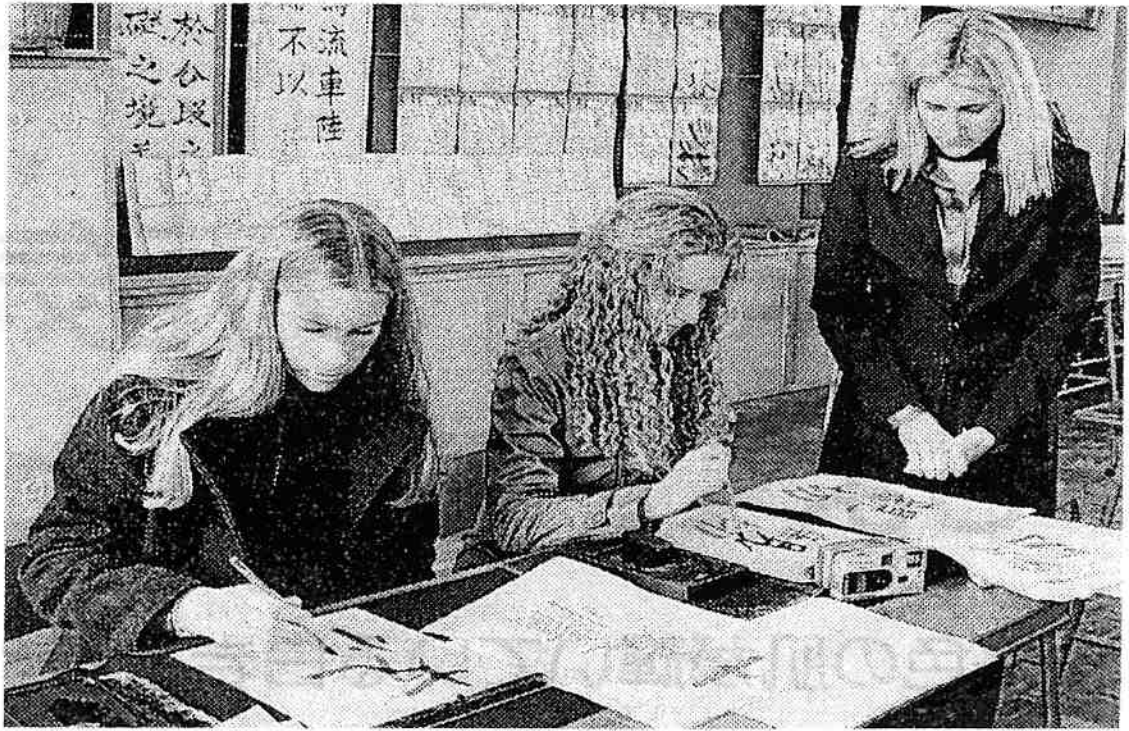
「友情」筆に誓う

米の高校生と交流集会

のかぎです。書道や茶道など日本文化を楽しんでください」と英語であいさつした。

マリエタ・バレー高の生徒三人はいずれも女子で、歓迎集会の後、書道の授業に加わった。墨をすり、毛筆で「友情」「親切」などの文字を書き写した。「この字はどついう意味」と尋ねながら「とっても面白い」と、初体験の書道を楽しんでいた。

アメリカの高校生たちは十九日まで滞在。糸島高で片仮名や茶道などを学び、前原市の南風小学校や市役所を訪ねる。



書道を体験するマリエタ・バレー高の生徒たち